

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所入所定員の拡大							掲載ページ	
								44	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		132,877	千円	917,606	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所が特に不足する地域について、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増を行い、年間を通じた待機児童の解消と、年度当初における定員超過入所の状況の解消を目指します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に保育所入所定員の拡大を図ります。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	民間保育所の整備箇所数			2 箇所		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	民間保育所の新規開設や既存保育所の増改築等を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）	2 箇所	2 箇所	2 箇所 100.0 %	大変順調	
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画通り、当初予定していた2箇所の民間保育所の増改築を行いました。この結果、現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあるため、順調としました。しかし、一部地区では、年度中途から待機児童が生じており、更なる入所定員の拡大に向けて、取り組む必要があります。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	福岡県の「安心こども基金」を活用して事業を実施しています。（市負担：1/12）また、新規開設の保育所は、全て民間保育所を対象にしています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>現行プランに追加して民間保育所の新規開設や既存保育所の老朽改築等にあわせた定員増を随時行うとともに、入所児童数の動向による定員の見直しを適宜行い、保育所入所定員の拡大を図っていきます。</p> <p>・（現在、事業着手している保育所）</p> <p>◇ 民間保育所の新規開設 … 2箇所 定員増計140名（新栄たてまち保育園、ひびきの保育園 ※ 平成27年4月開所予定）</p> <p>◇ 既存保育所の増改築 … 9箇所 定員増計120名 （古城保育園、三萩野保育園、みのり保育園、竜光保育園、花かご保育園、岩崎保育園 ※ 平成26年度中竣工予定） （折尾丸山保育所、牧山保育園、聖母園 ※ 平成27年度中竣工予定）</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	直営保育所の再編・民営化							掲載ページ	
								44	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		130,568	千円	-	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。	活動実績
-----------	---------------------	--	-------------

活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成22年度から平成26年度までの5年間で、直営保育所4か所の民営化と1箇所の統合を図り、18か所に再編します。	活動結果は下記のとおりです。
-------------	---	----------------

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		直営保育所の再編・民営化および老朽改築箇所数				
	直営保育所の再編・民営化及び民営化後の老朽改築を実施した箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）	1 箇所	1 箇所	1 箇所 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調
	（最終目標と最終年度）					

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画通り、当初予定していた「初音保育所」の老朽改築を実施したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の再編・民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減と、保育所運営の効率化を図っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>現行プランに掲げている計画に基づいて、下記のとおり、直営保育所1箇所の統合と、1箇所の民営化に向けて取り組みを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「修多羅保育所」と若松コスモス保育所の統合：平成27年4月統合予定 ・「折尾保育所」の民営化：平成27年度以降民営化予定 ※保育所移転先地における開発事業「折尾地区総合整備事業」の整備の遅れが影響している

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	産休明け保育等の対応の強化(家庭保育員、乳児保育の拡充)						掲載ページ		
							45		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		69,594	千円	82,563	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	産休明けを含む乳児期の保育ニーズに対応するため、生後43日目から保育を行う家庭保育員の増加を図るとともに、一般の保育所において、段階的に概ね3ヶ月から乳児を受け入れます。			
活動計画	公募による新規募集により、家庭保育員を3名増員します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→ 【活動の状況】
	家庭保育員数	18 人	19 人	19 人	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育の需要が見込まれる地域を考慮して事業を実施した家庭保育員数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)20人、平成26年度			100.0 %	
	一般保育所での生後3ヶ月からの入所受入	—	—	—	順調
	受入可能な保育所があるかの検討、調整を行います。 (最終目標と最終年度)			やや遅れ	遅れ

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 H24年度末の退職者が2名あり、H25年度は16名で開始しましたが、家庭保育員3名の拡充を行ったので順調としました。 産休明け保育に対応できる保育所は他にはなく、定員は1ヶ所5名以下であり、家庭的な雰囲気での保育を希望する保護者も多いため、入所率は8割を超え、効果は高いと考えます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保育所の新規開設に比べ、施設整備費はかからず、保育に対する市の負担額も低いため経済面での効果はよいと考えられます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

産休明け保育などのニーズに対応するため、家庭保育員の増員を行い、子育てサービスの充実を図ります。 一般保育所において、概ね生後3ヶ月から乳児を受け入れることを検討します。
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	計画的な老朽改築等の推進							掲載ページ	
								45	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		244,536	千円	567,729	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	民間法人の協力のもと、老朽化の進む施設を対象に、計画的な施設の改築などを行います。	
----	--------------------	---	--

活動計画	老朽化した片野保育園(小倉北区・昭和41年建築)の改築(平成24年度繰越)、また光沢寺保育園(小倉北区・昭和51年建築)の大規模修繕(平成24年度繰越)を行い、合わせて多様な保育ニーズへの対応や保育環境の充実を図ります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
------	--	------	----------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
		計画的な施設の改築				
	老朽化した施設の改築による保育環境の改善・充実、入所児童等の安全の確保といったニーズに対応する必要があることから、指標としました。 (最終目標と最終年度)	3 施設	2 施設	2 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定の2施設については、予定通り整備が完了したことから、順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の安心子ども基金を最大限活用し、市負担の軽減を図りながら、保育環境の向上に努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

繰越の4施設(増改築)のうち、当初予算計上の2施設(みのり保育園、竜光保育園)については平成26年8月頃の竣工、12月補正予算計上の2施設(花かご保育園、岩崎保育園)については、平成26年度末頃の竣工を予定しています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所等耐震対策						掲載ページ		
							45		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		13,928	千円	11,767	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子どもたちの安全を確保する目的で、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された保育所等の施設のうち、耐震改修および耐震診断未実施の保育所等施設について、耐震診断（二次診断）を計画的に実施し、必要に応じた耐震対応を図ります。						
活動計画	直営保育所（4所）および民間保育所（14所）について、耐震診断（二次診断）を実施します。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
活動指標	耐震改修および耐震診断未実施の保育所の耐震診断実施施設数（民間） 旧耐震基準（昭和56年5月31日以前）により建築された民間保育所等が、地震に対してどの程度の耐久性を有しているかについて調査します。 耐震診断を実施した民間保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 ※調査対象施設：守恒保育園ほか13所 （最終目標と最終年度）	13 所	14 所	14 所 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	耐震改修および耐震診断未実施の保育所等の耐震診断実施施設数（直営） 旧耐震基準（昭和56年5月31日以前）により建築された直営保育所等が、地震に対してどの程度の耐久性を有しているかについて調査します。 耐震診断を実施した直営保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 ※調査対象施設：新門司保育所ほか3所 （最終目標と最終年度）	1 所	4 所	4 所 100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	25年度においては、直営保育所4所、民間保育所14所の合計18所で耐震診断（二次診断）を実施しました。旧耐震基準により建築された保育所等施設の地震に対する耐久性を見極めるうえで、有効な診断結果を得ることができたことから、順調としました。 計画的に耐震診断を進めていること、必要に応じた耐震対応も進んでいることから、活動の状況については順調であると考えています。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所については、建築都市局の統括事業として、計画的かつ効率的に耐震診断を実施しており、「経済性」「効率性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。 また、民間保育所については、補助金を活用することによって、市の財政負担軽減を図りながら、耐震診断を進めており、「経済性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

引き続き、計画的な耐震診断（二次診断）を実施します。平成26年度は、民間保育所23所の耐震診断を実施する予定です。なお、直営保育所の耐震診断は、平成25年度で終了しました。
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所園庭の芝生化						掲載ページ		
							H23年度新規		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		14,260	千円	7,979	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	元気な子どもたちの育成を目的とし、跳んだりはねたりできるよう、保育所園庭の芝生化を推進します。						
活動計画	市内全保育所に対し、公募制により、保育所園庭の芝生化を実施します。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
	園庭芝生化実施箇所数		20 箇所	18 箇所	11 箇所 61.1 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育所園庭芝生化事業を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）							
						大変順調	順調	
（最終目標と最終年度）					順調 やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	11箇所において園庭の芝生化を実施しました。当初計画していた実施箇所数には及ばなかったものの、実施した園のアンケート調査結果では、児童や保護者の反応も良く、有効なものとなったことから、順調としました。 今後は維持管理に向けてのサポート体制の確立が課題となります。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	当該事業はNPO法人と協働体制で実施しており、NPO法人の特性を活かして経済性・効率性の向上を図っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

引き続き、芝生の整備や維持管理を通して、地域やNPO法人との協働による地域コミュニティの向上や子どもたちへの環境教育も推進していきます。整備箇所については、平成25年度同様に公募制で実施します。